

み 議会だより

# みなみちた



令和2年2月1日発行

第170号



|                  |     |
|------------------|-----|
| 12月定例議会の審査結果     | 2   |
| 交通死亡事故の根絶についての決議 | 3   |
| 委員会スポット          | 4～5 |
| 一般質問(4名が登壇)      | 6～9 |
| 行政調査報告           | 10  |
| 行政視察受け入れ         | 11  |
| 一般質問その後どうなった?    | 12  |

12月1日、町総合体育館にて豊浜太鼓打ち着物(鯛まつりに身につける着物)展が開催され、約190点が公開されました。下段の写真は当日の様子です。

# 12月定例会

12月定例議会は12月3日から11日間の会期で開催し、「南知多町漁港管理条例及び南知多町内海港港湾管理条例の一部を改正する条例について」始め議案10件、請願1件、発議1件を審議しました。採決の結果は、以下のとおりです。

| 件 名        |                                               | 結 果 | 石黒<br>充 明 | 榎戸<br>陵 友 | 松 本<br>保 | 吉原<br>一 治 | 服部<br>光 男 | 石垣<br>菊 蔵 | 内 田<br>保 | 小嶋<br>完 作 | 片山<br>陽 市 | 鈴木<br>浩 二 | 山本<br>優 作 |
|------------|-----------------------------------------------|-----|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 《12月3日採決》  |                                               |     |           |           |          |           |           |           |          |           |           |           |           |
| 議案         | 人権擁護委員の推薦について                                 | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○         |
| 《12月13日採決》 |                                               |     |           |           |          |           |           |           |          |           |           |           |           |
| 議案         | 南知多町漁港管理条例及び南知多町内海港港湾管理条例の一部を改正する条例について       | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 南知多町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ※        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 南知多町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について   | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ※        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 南知多町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について                 | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ※        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 南知多町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について     | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 令和元年度南知多町一般会計補正予算（第3号）                        | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ※        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 令和元年度南知多町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）                  | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 令和元年度南知多町介護保険特別会計補正予算（第2号）                    | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○         |
|            | 令和元年度南知多町水道事業会計補正予算（第1号）                      | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○         |
| 請願         | 「愛知県に国民健康保険への県補助金廃止を撤回し、復活を求める意見書」の採択を求める請願   | 不採択 | ×         | ×         | ×        | ×         | ×         | ×         | ○        | ×         | ×         | ×         | ×         |
| 発議         | 交通死亡事故の根絶についての決議について                          | 可決  | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○        | ○         | ○         | ○         | ○         |

○は賛成、×は反対。議長（藤井満久）は採決に加わらない。

※は反対討論をしたが異議を唱えなかったので、賛成となります。

反対討論とは・・・議題になっている事件（議案等）に対して、議員が反対の意見を表明すること。

## 交通死亡事故の根絶についての決議

一瞬にして尊い命を奪い、平和な暮らしを脅かす交通死亡事故をなくし、安全で安心して暮らすことができる社会を実現することは、すべての町民の切なる願いである。

しかしながら、本町では、令和元年5月13日に単独の交通死亡事故が発生し、1034日続いた死亡事故無事故記録は途切れることとなった。

また、愛知県においては、経済社会情勢や交通情勢の変化に対応した様々な交通安全対策を懸命に実施してきたことにより、昨年の交通事故死者数が1950年以来、68年ぶりに200人を下回ったものの、依然として全国ワースト1位の不名誉な記録が続いており、極めて憂慮すべき事態となっている。

交通死亡事故をなくすためには、町民一人ひとりの交通安全意識の向上を図ることはもとより、近年、子どもが犠牲になる事故や高齢運転者による事故が相次いでいることを踏まえ、子どもの安全対策や高齢者の安全運転を支える対策など、急速な少子高齢化社会の進展に対応した、より実効性のある交通安全対策をさらに強力に推進することが必要である。

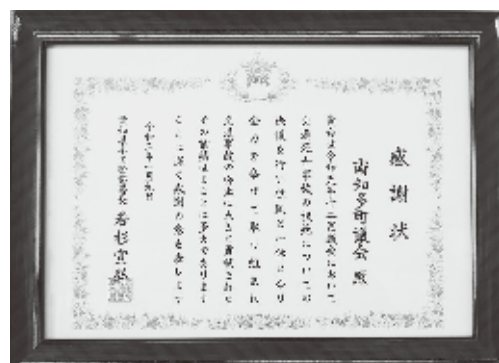
よって、本町議会は、町民の安全で安心して暮らしを守る立場から、改めて交通安全意識の徹底を喚起するとともに町を始め、警察や関係機関・団体と緊密な連携を図り、町民と一丸となって交通死亡事故の根絶に取り組むものである。

以上、決議する。

令和元年12月13日

愛知県知多郡南知多町議会

令和2年1月9日、半田警察署感謝状贈呈式において、本議会へ感謝状が授与されました。



# 委員会スポンツ

本会議より付託された議案などについて、12月6日に文教厚生委員会、同10日に総務建設委員会を開催し、審議を行いました。

両委員会での主な質疑は次のとおりです。

## 予算関係

### ◆令和元年度一般会計 補正予算(第3号)

**問** 障害児通所給付費等のうち、放課後等デイサービスの対象者とその内容は何か。また、給付費が増えた理由は何か。

**答** 小学校から高校までの障がい児に対する、放課後等における生活能力向上の訓練や居場所づくりを提供するものである。また、給付費が

増えた理由は、事業所への利用日数が増加したためである。

**問** 放課後等デイサービスの利用者は何人いるか。

**答** 令和元年8月の実利用人数は、12人である。

**問** 知多南部衛生組合分担金の154万8千円における、南知多町と美浜町の割合は、どれだけか。

**答** ごみ処理、し尿処理、火葬場などで、それぞれ異なるが、全体では、南知多町が52・127%、美浜町が47・873%である。

**問** 美浜町より割合が高いのに、補正額が少ないのはなぜか。

**答** 今回減額となる主な事業は、火葬場整備事業で、分担率が均等割と人口割で計算されるため、南知多町は58

万7千円、美浜町は96万1千円となっている。

**問** 建設課所管の更新前の車の両の使用年数と走行距離はどれくらいだったか。

**答** 使用年数は15年10か月、走行距離は11万5千kmである。

### ◆令和元年度国民健康保険 特別会計補正予算(第2号)

**問** オンライン資格確認等システム改修を行うことにより何が変わるのか。

**答** 国民健康保険及び社会保険等の資格情報を一元管理することができるようになり、医療機関や薬局での受診時等にオンラインで資格確認が可能となる。また、保険証の代わりに個人番号カードでの受診も可能となる。

**問** オンライン資格確認等が行われた場合の町のメリットは何か。

**答** 国民健康保険から社会保険へ保険が切り替わった場合など、資格の無い保険証での受診が防止でき、医療費の請求誤りが減少する。また、それらに係る事務が軽減される。

### ◆令和元年度介護保険 特別会計補正予算(第2号)

**問** 地域包括支援センターの町職員数が1名減となったのはなぜか。また、4名体制での現状はどうか。

**答** 当初予算では、係長以下5名の配置を見込んでいたが、保健師1名が欠員となっていたこともあり、人事異動の結果、4名となった。業務においては、大変厳しい状況ではあるが、課内の連携・協力体制が常時とれるよう努めている。

## 条例関係

◆南知多町漁港管理条例及び南知多町内海港湾管理条例の一部を改正する条例について

**問** 漁港施設使用料と港湾施設使用料の料金改正における年間の影響額は、それぞれいくらか。

**答** 漁港施設使用料については、大井漁港、日間賀漁港、山海漁港、豊丘漁港の合計で、2万6千638円である。港湾施設使用料については、内海港1港のみで、88円である。

**問** 漁港管理条例は泊地使用料として漁船のみを規定しているが、内海港湾管理条例では、その他の船舶も規定している。この違いは何か。

**答** 漁港管理条例では、主に漁船の利用を想定している。

るが、内海港湾管理条例では、漁船に加えて、給油船等の作業船の利用を想定している。

◆南知多町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆南知多町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

◆南知多町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

**問** それぞれの影響額の総額はいくらか。

**答** 議会議員の期末手当は年間18万円の増額、町長、副町長及び教育長の期末手当は年間11万6千円の増額、職員の給料は年間174万1千円の増額、職員の勤勉手当は年間330万9千円の増額、職員の住居手当は年間59万7千円の減額を見込んでいる。

## 一般質問

## ここが聞きたい！

12月4日 4人が質問に立った。  
議員一人につき、質問・答弁を含め60分以内。

一般質問とは、議員が、町の行政全般にわたり、町長を始めとする執行機関に対して行う質問を、一般質問といいます。

|   |      |                                                              |
|---|------|--------------------------------------------------------------|
| 1 | 服部光男 | わかりやすい避難指示に<br>海っ子バス路線変更について問う                               |
| 2 | 榎戸陵友 | 地球温暖化対策の取り組みについて<br>河川の災害対策について                              |
| 3 | 内田保  | 介護認定者の障害者控除の認定について<br>南知多町の学校教育の条件整備のために<br>今後の学校部活動の考え方について |
| 4 | 石垣菊蔵 | 予防接種の自己負担の支援と額の統一を                                           |

## Q バス前面上部の表示改善を

## A 行先に路線名を加えていく



服部光男議員

わかりやすい避難指示に

**問** 近年、独居老人、高齢者世帯が増えている。緊急の場合は、「避難指示」より「避難命令」という強い言葉にしてはどうか。

**答** 田中総務部長  
内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されたことに伴い、本町も「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を改定し、それに従い、全国統一の警戒レベルを付している確かつ迅速な避難情報を提供していく。

**問** 風水害時の避難場所として、敷地の一部が「土砂災害特別警戒地域」に指定されている内海防災センターを、使えるように、平成30年12月議会答弁後、何か対策はしたのか。

**答** 田中総務部長  
その後、地域の避難所として内海防災センターを活用することの有効性や必要性を県に対して訴え、当該区域における急傾斜地崩壊対策事業の実施を強く要望している。



内海防災センター

**問** 海つ子バス路線変更について問う  
早朝の西海岸線下り2本が内海駅発となっている。さらに、内

海地区の利便性を上げる意味で、内海地区の出発点を彼岸橋からに変更できないか。

**答** 鈴木企画部長  
今後利用者の声を聴きながら、バス利用の実態調査などを踏まえ、より利便性の高い路線、運行ダイヤ等となるよう検討・改善に努めていく。

**問** 蟹川橋南のバス停の時刻表がダイヤ改正後も改正前の時刻表と2種類貼ってあり、利用時に困惑した。改訂前の時刻表の撤去確認はしたか。

**答** 鈴木企画部長  
ダイヤ改正後、11月11日までに撤去作業を完了した。今後は、計画的に迅速な作業に努めていく。

**問** 河和駅から山田バス停までの区間は海つ子バスの豊浜線と知多バスの師崎線が重複している。路線表示がわかりづ

らく、不安に感じる。わかりやすい表示は出来ないか。

**答** 鈴木企画部長  
現在はバス車両の前面上部の行先表示が、「師崎港」など行先のみの表示となっているが、今後は行先だけではなく「師崎港（豊浜線）」など、路線名を加えて、わかりやすいものへと、早急に変更するよう作業を進めていく。



変更後の行先表示



榎戸陵友議員

## Q 河川の氾濫時にどう対処するか

A 現場の状況把握に努め、警察や消防団と連携する

### 地球温暖化対策の取り組みについて

**問** 本町の地球温暖化対策として、12月を中心に広報や回覧で町民に家庭で取り組むよう啓発に努めるとしていたが、平成30年度にはなかった。毎年啓発しないのか。

**答** 田中厚生部長

平成30年度については、1月、5月、7月、9月に関連記事を掲載し、啓発に努めた。

**問** 以前、地球温暖化対策について提言した、

(1)自治体でやるべき対策、(2)温暖化対策の条例について、(3)ストップ温暖化一村一品大作戦の進捗状況はどうか。

**答** 田中厚生部長

(1)は、緑のカーテン事業と、住宅用太陽光発電施設導入促進事業補助金を交付し、再生可能エネルギーの普及に努めた。(2)は、制定していない。

今後は、県内市町村の動向を注視していく。(3)は、都道府県地球温暖化防止活動推進センターのプロジェクト事業だが、平成21年度で終了している。

本町としては、同じ趣旨の事業として緑のカーテン事業を実施している。

**問** 地球温暖化の問題については、国連気候変動サミットで、16才の環境保護活動家がCO<sub>2</sub>削減を迫り、話題となった。

本町の小中学校では、この問題について、環境教育は行われているか。

**答** 山下教育部長

小学6年では、社会科学と理科、中学では、技術科と家庭科での学習内容に環境教育が設定されている。

### 河川の災害対策について

**問** 本町では、大雨、洪水、高潮等の発生時に災害を引き起こす可能性の高い危険河川を把握しているか。また、その河川の修繕・改良を実施しているか。

**答** 大岩建設経済部長

県管理の内海川、町管理の片名川、大井川、浜田川、楠川などを危険河川として認識している。

現在、内海川においては中流部の拡張、大井川、片名川においては河川護岸の老朽化対策や堆積土の浚せつ、浜田川においては護岸の嵩上げ工事を実施している。

**問** 水害に関して、自ら被害を軽減する取り組みを行うよう、水害リスクの提供に努めてはどうか。

**答** 田中総務部長

「高潮・大雨浸水被害ハザードマップ」を各地区に配布し、町ホームページにおいても「災害避難マップ」と共に掲載している。また、各世帯に「災害・避難カード」などの

配布や防災講習などを開催し、更なる防災意識の啓発に努めていく。

**問** 河川氾濫時にどう対処するか検討しているか。

**答** 大岩建設経済部長

現場の状況把握に努め、二次被害を防止するため、警察、消防団等と連携して交通の制限や規制を行うと共に、災害協定に基づき土木業者への復旧要請を行う。

**問** ため池は、農業用水の水源の他、洪水の調整機能を持つ重要な施設である。現在、本町にある77か所のため池のうち、治水としてのくらし運用しているか。

**答** 大岩建設経済部長

33か所のため池については、町の「ため池の低水位管理に関するガイドライン」に基づき、各区の実情に合わせた低水位管理を実践している。

# Q「学校部活動は、必ずしも教師が担う必要のない業務」であることの説明を

## A 保護者に説明し、理解いただくことは必要



内田 保議員

**介護認定者の障害者  
控除の認定について**

**問** 武豊町等のようにすべての要介護認定者に「障害者控除対象者認定書」を送付する仕組みにしないのはなぜか。

**答** 田中厚生部長  
必ずしもすべての方が申告に必要がないことから、前年度認定書を送付した方に対して送付している。

**問** 今後も自動的に個別通知をしないと考えるか。

**答** 田中厚生部長  
要介護・要支援認定等結果通知書に、制度について周知を図っている。また、広報やホームページにおいても、必要な方が障害者控除を受けられるよう努めていく。

**南知多町の学校教育  
の条件整備のために**

**問** 保護者や他校との連絡、相談のために電

話の通話回線を2回線以上に改善すべきではないか。

**答** 山下教育部長  
平成30年度までにファックス回線との共有を含めて2回線の確保を進めたことにより、ファックスを使用していなければ電話を2回線分利用できる。また使用頻度は少ないので増設は考えていない。

**問** 各島の教職員の負担を減らすために、篠島の小・中学校に各1台ずつ、日間賀島の小・中学校どちらかにあと1台、軽自動車の公用車を配置する必要はないか。

**答** 山下教育部長  
現在、篠島には各学校2台、日間賀島には小・中学校で1台と原付バイクが小・中学校に各1台あり、公用車は足りていると考えるので、増加は考えていない。

**今後の学校部活動  
の考え方について**

**問** 小学校部活動は、半田市等のように、社会教育充実を基本として縮小・廃止に向けて準備すべきと考えるがどうか。

**答** 山下教育部長  
小学校の部活動を縮小・廃止した場合、児童の体力作りや金管バンド等の文化活動の場が確保できない。社会教育の充実が確保された段階で検討すべき将来の課題である。

**問** 中学校部活動は教育課程になく、社会教育に移行させる考えのもと、文科省通知「必ずしも教師が担う必要のない業務」であることを基本にした学校運営と社会教育の充実に向けた施策を進めるべきと考えるがどうか。

**答** 山下教育部長  
中学校の部活動は、教育課程外の活動ではあ

るものの、学校教育活動の一環として、大きな意義や役割を果たしている。一方、働き方改革の実現のためには、これまで学校が果たしてきた役割も踏まえ、専門職員、指導員、地域の人材の活用、高校や大学との連携などの運営の工夫も必要と考えている。

**問** 教師の働き方が見直されている中、「必ずしも教師が担う必要のない業務」であることを保護者にも理解を求めるべきと考えるがどうか。

**答** 山下教育部長  
学校部活動は、学校教育の一環として教育課程との関連を図りながら実施するもので、その教育的意義は高いと認識しており、学校部活動を社会教育に移行することは、現在考えていない。顧客の負担軽減について保護者に理解いただくことは必要である。



石垣菊蔵議員

## Q 子育て支援としてインフルエンザ予防接種費用の補助を

A 近隣市町の動向を注視していく

予防接種の自己負担の支援と額の統一を

**問** 子育て支援に係る任意の予防接種はインフルエンザワクチン、おたふくかぜ、ロタウイルスなどがあるが、町では、これらの予防接種をどのように考えているか。

**答** 田中厚生部長

ロタウイルスは令和2年10月1日から新たに定期接種の対象となる。おたふくかぜワクチンは現在も継続して定期接種化に向けた検討がされている段階である。インフルエンザワクチンは一定の効果はあるが、まれに副反応がみられることもあり、十分に理解し慎重に接種すべきと考えている。

**問** 仮に令和元年度の中学3年生と高校3年生にインフルエンザワクチン1回接種の全額を町

が補助した場合、対象者及び所要額はどれだけか。

**答** 田中厚生部長

中学3年生131人、平成31年3月末現在の高校3年生年齢相当者144人で全員に要する試算額は132万円である。

**問** インフルエンザの任意接種の近隣5市4町の助成の動向はどうか。

**答** 田中厚生部長

東海市、大府市、知多市において、中学3年及び、高校3年生年齢相当を対象に一部又は全額助成をしている。

**問** 子育て支援として、町は一部負担も考慮し、助成する考えはあるか。

**答** 田中厚生部長

町の財政が厳しい現状において、助成することとは考えていないが、中学3年及び高校3年生年齢相当者は、近隣市町の動向を注視していく。

**問** おたふくかぜの予防接種の効果がある対象年齢の対象者数及び2回接種を補助した場合、町の負担はどれだけか。

**答** 田中厚生部長

日本小児科学会は、1回目を1歳から3歳までに接種することを勧めており、また、5歳から7歳未満の時期に2回目の接種を推奨している。このことから、平成31年3月末現在、1歳62人、5歳98人で、町の負担は100万8千円である。

**問** おたふくかぜのワクチン接種において、一部負担を含め、町は補助する考えはあるか。

**答** 田中厚生部長

補助を行う予定はないが、国や近隣市町の動向を注視していく。

**問** 一般町民のインフルエンザワクチン料金の医療機関別の価格差を、町はどのように捉えているか。

**答** 田中厚生部長

それぞれの医療機関の様々な事情と経営努力により決定されているため、やむを得ない。

**問** このインフルエンザ予防接種料金について、費用額の統一を、近隣市町を巻き込んだ働きかけはできないか。

**答** 田中厚生部長

病院の経営事情を総合的に勘案して、それぞれが決定しているため、近隣市町を巻き込んだ料金統一に向けた働きかけは難しい。



# 常任委員会合同行政調査の報告

10月31日・11月1日の2日間、文教厚生常任委員会と総務建設常任委員会が合同で、岐阜県恵那市と長野県喬木村で行政調査を実施しました。

恵那市では「遊休農地の解消と就農者の増加に向けた取組み」、喬木村では「遠隔教育をはじめとするICTを活用した教育の取組み」について、今後の議員活動の参考となる、大変有意義な調査となりました。

## 【岐阜県恵那市】

恵那市では「もうかる農業プロジェクト」として、新規就農者等の確保のため、単身でも市営住宅に入居できるようなするなど、財政的支援等を行い、過去10年間で78名の実績を上げている。

また、耕作放棄地利用事業「花咲か里山プロジェクト」として、高校・企業・市の三者で連携して各種取り組みを実施している。



「遊休農地解消と就農者増加に向けた取組み」についての説明の様子

本町も、これを一つの取組みとして、明確なビジョンを示していくべきだと感じた。



喬木第2小学校での説明の様子

## 【長野県喬木村】

喬木村にある二つの小学校による遠隔合同授業によるメリットとして、学校間格差や情報交換・共有、一体感、適度な緊張感等があるが、その反面、経費面においては、膨大な初期投資と更新費用、また職員の配置など厳しいものがある。

ICT活用は、財源が許す限り、大いに導入すべきと考える。



「ICTを活用した教育の取組み」について職員の方からの説明

本町における、学校の今後についての選択・一方策として、今後の議会活動での提案に加えていきたい。またICT活用も含めて、特色のある町独自の授業に向けての投資を提言していきたい。

# ようこそ南知多町へ

## ～他市町村行政視察の受け入れ～

### 【体験型の観光について・災害に強

#### いまげんくについて】

令和元年11月7日、栃木県野木町  
議会議員7名が本町を訪れました。

本議会からは、藤井議長が出席し、  
まず初めに産業振興課職員より、農  
漁業を活かした体験型観光の説明が  
ありました。次に、防災安全課職員  
による、災害に強いまちづくりの説明  
があり、その後、どちらも多くの質疑  
と活発な意見交換が行われました。



栃木県野木町議会の視察の様子

### 【空き家バンク制度について】

令和元年11月19日、広島県熊野町  
議会議員5名が、本町を訪れました。

本議会からは、藤井議長が出席し、  
地域振興課職員より、プロジェクター  
を使用し、本町の空き家バンク制度  
の説明のあと、空き家対策の現状や、  
運用における課題などについて、質  
疑と意見交換が行われました。



広島県熊野町議会の視察の様子

### 【カドミナプロジェクト事業について】

令和元年11月20日、福岡県水巻町  
議会議員4名が、本町を訪れました。

本議会からは、藤井議長が出席し、  
企画課職員とウミひとココロの斎藤  
会長より、レンタルスペース「カド  
ミナ」の運営・管理について説明の  
あと、実際に「カドミナ」を見学し  
ながら、質疑と意見交換が行われま  
した。



福岡県水巻町議会の「カドミナ」視察の様子

## 一般質問、その後どうなった？

平成29年12月定例会において、自主防災会等津波避難路整備事業費補助金に関して、次のような質疑・答弁がされました。

**Q** 自主防災会等津波避難路整備事業費補助金の使途に、請負による工事費は認められていないが、対象に加え、活用できないか。

**A** 請負工事費は補助対象としていないが、今後検討していきたい。

その後、「自主防災会等津波避難路整備事業費補助金」はどうなったでしょうか。

平成30年4月に、町の「自主防災会等避難路整備事業費補助金交付要綱」が改正され、取り付け工事などの請負にかかる費用も対象となりました。



師崎地区(宗真寺付近)津波避難路に設置されたソーラーライト  
ソーラーライト購入、取り付け工事費 11万3,400円(うち補助対象分10万円)

## 3月定例会の日程(予定)

|                |       |                  |
|----------------|-------|------------------|
| 3月5日(木)9時30分～  | 初 日   | 議案上程、質疑、委員会付託 等  |
| 3月6日(金)9時30分～  | 二 日 目 | 一般質問             |
| 3月18日(水)9時30分～ | 最 終 日 | 委員長報告・質疑・討論・採決 等 |

※都合により変更となる場合があります。

※議会の日程は、町ホームページでもご覧いただけます。

■本議会の一般質問は、ケーブルテレビ(CCNC)で放送されます。

ケーブルテレビの放送予定日

3月16日(月) 午後10時～ 地上デジタル121ch

3月22日(日) 午前10時～ 地上デジタル121ch

ホームページQRコード



12月定例会の会議録は、2月中旬ごろ町公式ホームページに掲載する予定です。

や議会だより

みなみちた

No.170

令和2年2月1日発行  
愛知県南知多町議会  
令和元年12月定例会

発行／愛知県南知多町議会 編集／議会広報特別委員会  
住所／〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18  
電話／0569-65-0711 FAX／0569-65-0694  
Eメール／gikai@town.minamichita.lg.jp